

事務事業調査

平成26年度

事業No	421	課	商工課	係	商業観光係	起案者	加藤康平
						決裁者	永井教彦
事務事業名	商工業共同事業等補助事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 4 市街地 1 中心市街地 2 商業の活性化 3 販売促進				予算科目(会計)		一般会計	
					予算科目(款・項・目)		35-5-10	
					総合計画以外の計画			
					関連する総合計画の施策			
					性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営		委託先					
実施期間	開始	昭和52年度		経過	37年目		終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	商工団体（商店街振興組合・商工会議所・まちづくり会社等）が				~になる	販売促進及び施設整備事業等を行うことにより商業が活性化する。	
事務事業の内容	商工団体が実施する商店街における販売力向上や集客力向上を目的とした販売促進事業（講演会の開催、安城七夕まつり・三河安城フェスタの開催、機関誌の発行）等に対する補助を行っています。 また、商店街における地域住民の安全・安心な生活環境を守るための施設整備事業（街路灯・アーチ・アーケードの設置・改修・撤去、防犯カメラの設置）等に対する補助を行っています。							
改善・対策の履歴	【平成25年度】国の補助金制度（商店街まちづくり事業（まちづくり補助金））」が平成25年3月に創設されたことに伴い、「補助対象経費」の算定方法を見直すため、市補助金交付要綱を改正しました。（平成25年12月1日施行）							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	52,680	90,199	35,825	53,094	36,525
財源計	49,341	86,104	31,100	48,369	31,800
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	1,545	0	9,342
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	49,341	84,559	31,100	39,027
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,339 (0.53)	4,095 (0.65)	4,725 (0.75)	4,725 (0.75)	4,725 (0.75)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	街路灯・防犯カメラの設置補助	見込	2.00	2.00	4.00	7.00
			実績	1.00	3.00	5.00	
	指標名 (単位)	設置団体への補助件数(団体)	活動の総事業費(千円)	3,528	4,431	22,247	
			活動にかかるコスト(千円)	3,528.00	1,477.00	4,449.40	
活動2	活動名 (活動内容)	安城七夕まつりの実施補助	見込	8.00	8.00	8.00	7.00
			実績	8.00	8.00	8.00	
	指標名 (単位)	実施団体への補助件数(団体)	活動の総事業費(千円)	4,126	4,466	4,401	
			活動にかかるコスト(千円)	515.75	558.25	550.13	
活動3	活動名 (活動内容)	商工会議所による講演会の実施補助	見込	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	4.00	6.00	3.00	
	指標名 (単位)	実施回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,445	1,445	1,445	
			活動にかかるコスト(千円)	361.25	240.83	481.67	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	安城七夕まつり来場者数(人)			目標	1,300,000.00	1,300,000.00	1,300,000.00	1,300,000.00
				実績	1,080,000.00	1,200,000.00	1,250,000.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	1,300,000.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2	歩行者通行量(平日)(人)			目標	0.00	2,769.00	2,789.00	2,808.00
				実績	2,750.00	3,010.00	3,217.00	
	目標達成年度	平成29年度	目標成果指標値	2,867.00	達成状況	未達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	安城市商店街連盟が「あきんど塾」を開催したことで、店主の商店街の活性化に対する意識がより一層高まり、商店街全体で盛り上げていこうとする雰囲気が醸成されました。このような研修会は、店主が講師となる「まちの教室」や地域通貨である「アトム通貨」の活動につながっています。 また、まちづくりに取り組んでいる商店街の課題や成功事例などを共有することにより、商業者が若手を中心とした人材育成の必要性やこれからの商店街のあるべき姿を再認識することができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	講演会は、平成25年度が商工会議所創立60周年であり、例年よりさらに充実した講師で盛大に開催されたため、活動にかかるコストが増加しています。 また、街路灯設置事業は、国の「商店街まちづくり事業(まちづくり補助金)」が創設され、商店街振興組合が行う安全・安心のための施設整備事業には、総事業費の3分の2が補助されるなど、従来の補助金制度に比べて支援が手厚く、活用しやすい制度であったため、補助件数が増加しています。
成果	安城七夕まつりの来場者数は、「願いごと、日本一。」をテーマに「願いごと」に関する様々な取組を行ったことにより、目標は達成できなかったものの、来場者は着実に増加しています。 さらに、第60回(平成25年)の安城七夕まつりの経済波及効果は約13億円と分析され、商業の活性化に寄与しています。 また、歩行者通行量は、安城市中心市街地活性化基本計画に掲載されている活性化事業を行ったことにより、目標は達成することができましたが、最終目標は、計画期間中の中間年度である平成27年度に見直しを行うことになっています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
国の「商店街まちづくり事業(まちづくり補助金)」が、平成26年8月に終了するので、商工団体に対して補助金説明会等を開催し、事業目的や事業内容の周知を図り、商工団体と連携して安全・安心なまちづくりを推進します。 また、商工団体のニーズや社会情勢の変化に合わせて、実効性のある補助制度となるように市補助金交付要綱を見直します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	商工団体を支援することにより、市全体の商業者の育成、商業の活性化につながると考えられます。 また、補助金による商工団体の財政基盤強化は必要であるため、引き続き、実施する事業内容を精査し、より効果的な支援を行っていきます。